

WORKS

Empower&Energize

No102
2007/04

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

名東福祉会のご後援 をお願いします。

名東福祉会理事長 加藤久和

昨年度の知的障害者福祉業界は台風
のようでした。いや、台風というより
はこれからまた余震が襲ってくるこ
が確実である大地震のようなもので
あったのかもしれない。

平成18年度の福祉サービスの
利用料収入は名東福祉会の場合、
3億4千100万円でした。平成17
年と比較すると、約4千600万円
の減収となりました。約12%ほど
の減収です。寄附金収入についても
激減しています。平成17年度に
は3千200万円であったものが、
2千500万円になったのです。利用
料の1割が自己負担金となったため
に、寄附をする余裕がなくなったこと
が大きかったものと思われます。
補助金収入は若干増加しました。平
成18年度は名東区障害者地域生活
支援センターが強化されたため、補助
金が法人全体で2900万円であつた
のが4000万円となったためです。
名東福祉会の職員の一人当たりの賃
金は平均約350万円。日本人の平均
収入は500万円だそうですから、決

して高い給料ではありません。
理事長としては就任以来、報酬をい
ただいていませんが、昨年度は会長の
給料が年の後半にはゼロ円になり、今
は年金暮らしをしてもらっています。
今後、経営者として報酬をいただく見
通しは立っていません。

社会福祉というと、世の中の人は案
外お金を持っているかのような錯覚を
する場合があります。確かに、
立派な建物が建っているため、随分と
お金があるかに見えますが、現実には
ほとんどが人件費であり、その人件費
も十分なものではないのです。このと
ころ名古屋は景気が良く、業には世界
の有名ブランド店が軒をならべていま
す。景気がよいことはいいことなので
すが、福祉の現場で働いている職員は、
他へ行けばもっといい仕事にありつけ
るのに人件費の安い、私たちの職場で
働いてくれています。

名東福祉会の利用者の人たちの障害
の程度は、愛知県の中でも群をぬい
で重い障害の人が多く集まっていま
す。処遇が難しいといわれる自閉の人
や、ちよつとしたミスが命取りとなる
ような重症心身の人も利用されていま
す。それだけ職員の負担は大きくなり
ます。

名東福祉会は1980年の法人認可
以来、27年が経過しました。その間、

利用者の親御さんもそれだけ年をと
りました。当時、絶世の美女軍団といわ
れた母親たちもみな、応に年をとり、
現場の主任としてまだ土地造成が終
りきつていない名東区や天白区の野山
を駆け回っていた私の頭髪も薄くな
り、お腹も出てきました。開設当時は
今度の家族会はどこへ研修旅行に行
てどんな文化に触れ、どんなおもしろ
ものを食べるのが話題であつたの
に、最近では一緒に入れる高齢者ホ
ームをどうかつくってくれないかとい
うような話題ばかりです。

そんな名東福祉会ですが、節約だけ
は得意で、昨年度はみなさんからお預
かりした寄附金は手をつけることなく
全額プールすることができました。職
員たちはなんとか支援費の利用料収入
と補助金でしのいできたことになりま
す。ただ、私たちは単に節約をするだ
けでこの危機を乗り越えようとしてい
るわけではありません。むしろ、積極
的にここから地域の人たちが望む事業
を展開していきたいと考えています。

第一に、ケアホームを建設してい
きたいと考えています。ケアホームと
は、比較的障害が重い人たちが対象と
した共同生活の場です。これまでが入
所施設がその役割をになつていました
が入所施設は住まいと日中の生活の場

がごっちゃになった施設です。純粹な意味で、「暮らしの場」という感じではありません。

もつとも、名東福祉会の入所施設であるレジデンス日進は、現在のケアホームを先取りし、1ユニット10名が4つ集まったユニット形式のホームです。開所以来、住まいの場と日中活動の場が分離され、ゆつたりとしてなおかつメリハリのある生活を提供することができています。しかしながら、施設を建設する補助金は国の政策により、ゼロになりました。

さあ、そうなると、150名を超える会員のうち、レジデンス日進を利用している方はわずかに40名。残りの人たちは地域の中で親子が今も生活をともにしている人たちです。高齢化を迎えている親たちからすると、先行きの不安は日増しに増しています。

そこで、これからの国の方針でもあるケアホームを一刻でも早く建設し、高齢化している親御さんたちが安心して暮らせるようにしなければなりません。問題はやはり資金です。もちろん、利用する人がケアホームの建設資金をなんらかの形で負担することは避けられないでしょう。自分たちが利用する家の建設資金を自分たちで負担することは、これからの社会情勢を考えればむしろ当たり前でもあるからです。

ただ、名東福祉会の場合、高齢者福祉とは異なり、まったく収入や蓄えがない人や非常に障害が重い人たちに對してもケアを提供していく使命があります。そうした場合に、より幅広く、多くの方々から後援をいただき、必要な運営費を補っていただく必要があるかと思えます。

第二に、児童行動療育センター「たけのこの里」を開設します。

この春、中京大学を退官された久野能弘先生（金沢大学名誉教授）を名東福祉会にお招きし、行動療法による療育を行っていただくことになりました。行動療法はアメリカにおいてはメディカルエビデンス集といって、医療技法のうち、効果が科学的に証明されているものだけを集めた書籍に掲載されているだけに、たいへん効果が期待されている療法です。福祉は生活ですから、医療現場や大学のセラピールームだけではなく、できるだけ生活の場面でこうした成果がでるよう、久野先生たちのスタッフにはがんばっていたいただきたいと期待しています。

第三に、お米の仕入れ販売を行います。知的障害者の人の場合、働くことを支援することが日中活動の中心となります。その働き方は、障害の程度に応じてさまざま。企業から依頼された部品を組み合わせる簡単なものから、

熟練を要するような製パン作業までいろいろあります。ほとんどの人が企業への就職は望んはいませんが、工賃をもらうときに歓声があがるほど楽しみにしている人も多くいます。そうした人のために、工賃をできるだけ多く支払って行けるよう、働く活動を充実したものにすることが必要です。

すでに精米機などについては名古屋市の助成金で設置していただきました。石抜き、精米、配達などの作業を利用者の人たちにさせていただき、少しでも多くの工賃がいただけるようお米を販売してまいりたいと思います。まずは、自前で給食事業にお米を利用することを考えています。ゆくゆくは地域の人々にお米を食べていただき、地域社会に根ざした仕事が展開できたらと夢を膨らませています。

このように、名東福祉会は自立支援法の逆風はありますが、それにあえて立ち向かっていく道を選びました。そうすることが利用者からの賛同を得ることができ、結果的に生き残ることができる唯一の道であると信ずるからです。読者の皆様にはそうした名東福祉会の真摯な姿を地域社会の皆様にご理解いただき、応援をいただくことを心よりお願い申し上げます。

行政情報

平成19年3月22日に、愛知県障害者福祉協会の役員と愛知県障害福祉課が今後の知的障害者福祉に関する協議を行いました。いくつかの魅力ある回答がありました。

ケアホーム運営について一人1日700円、グループホームは400円の補助金が運営者に支払われることとなります。自立支援法に基づいた施設に転換するために必要な施設の改装や整備について、1施設あたり2千万円までの整備費補助金が支払われることとなります。ただし、平成19年と20年の2年に限ります。

ケアホーム用にアパートを借りる場合に、敷金礼金などのため、133000円の補助がつくこととなります。アパートの改修費用として200万円まで補助金を受けることができます。

愛知県の6月の県議会で承認を得ることができれば、7月から始まることです。知的障害者の生活を支え、質を高めていくためにはどうしても人の支援が必要です。特に、障害が重い人たちが地域の中で生活していくためには職員が張り付いて支援していくことが必要になります。

こうした中、ひとりあたり700×300日210000円の補助金が増えることは生活の安全を確保し、楽しい活動を増やしていくうえで大きな改善となります。

ただ、ケアホームを設置することについてはまったく補助金がありません。賃貸ケアホームを経営したいという計画を持っている民間のアパート経営者はありません。そうなればケアホームは自力で建設するしか方法がありません。そのためには親が共同出資することが必須であると思います。

根本的には知的障害者用民間アパート経営に魅力がある誘導策を打つか、建設の補助制度を設けるかが必要です。が、このところ病気などで倒れる親御さんも増えています。一刻も早いケアホーム建設ができるよう、まずは利用希望者が共同出資を行い、それに地域社会全体が応援のための支援をしていただけるように、私たちも運動を行わなければならないと思います。

名東福祉会のブログ

奈々枝日記

このごろ、福祉の世界は様変わりしています。どうしてこの世界に入った

のか・・・を最近考え込むことが多くなりました。

長男が高熱を出し、そのまま熱が下がらず国立病院入院に入院したことから始まったことがきっかけでした。

長男は入院してもなかなか高熱が下がらず、大発作を起こし、そのまま半身不随となりました。重い障害をもつたわけですが、なんとか生きてほしいから・・・とそのころのことを思い出します。

中日新聞の「中日よろず相談」に駆け込み、そのころ相談者になっておられた名古屋大学の堀栗先生とお会いしました。先生は、これからは何かとこの人に相談するようにしなさいと、村上英治助教授を紹介してくださいました。お二人とも亡くなられましたが、日本の自閉症治療やカウンセリング技術の発展に多大な貢献をされた先生です。

何も福祉の制度がなかった時代です。そのころはリハビリテーションとはいいません。毎日、名古屋大病院のマッサージに通い、ひたすら生きてほしいと願う毎日でした。そんなとき、何も表情に変化がなかったわが子がチャラッと見せた目の輝きだけで私は生きていくことができるようになりました。

何十年もたった今でも、物言わない

人が私を見るととき、心なしか目が変わります。ものが言える人はいろいろ私に言いかけてくれます。そんなときが「ああ、仕事を続けてきてよかったな」と思うときです。

人のお世話をすることはたいへんです。一緒に歌を歌っているときです。気はゆるませません。トイレ、薬と走り回ってもみんなありがとうとはいいません。利用者の人たちに懸命の支援を行ったとしても、むくわれることはわずかです。でも、そうであるからこそ、ほんの些細で見逃しそうな変化であっても、私たちに大きな喜びをあたえてくれるのだと思います。そうした小さな積み重ねが今日の福祉を築いてきたのだと思います。

心臓手術をして7年。お医者さまは5年くらいで再手術が必要だとおっしゃっていました。もちろんあの手術を受ける気力も体力もありません。いつまでこの心臓はもつてくれるのやら・・・。

生きていくことはつくづくすばらしいことだと思えます。せっかく私たちが日本の人たちみんなで築いてきた医療や福祉が灰じんに帰すことのないよう、祈るばかりです。

2007年3月15日

小島一郎の支援センター日記

突然だが、土石流というものをご存知だろうか。大雨などで地盤が緩んで斜面などが崩れ、文字通り、上砂や岩石が雪崩のように襲ってくるものである。ニュース映像などで見ると、被害に遭った民家は、粉々になるか屋内を土砂で埋め尽くされるかといった有様である。

そんな、土石流に襲われたようなお宅にお邪魔した。もちろん、屋内を埋め尽くしているのは土砂ではない。タオル、下着、カバン、布団、新聞紙、弁当の包み、ペットボトル・・・といった人為的なものばかりである。「何を大袈裟な」と思われるかもしれないが、4部屋全てがこれらの物に覆われ、物を掘ってもなかなか床は見えず、部屋の隅は「丘」になっており、歩くと崩れるといった状態である。つい最近、ご家族を伴って、もう一人の支援センターと、こんなお宅に貴重品を探しに行った。いろいろと差し障りがあるので詳しくは記さないが、何と云うか、名東区にもこんなお宅があるのかと感心してしまった。1時間ほどの宝探しで、我々は埃にまみれになってしまった。ふと目を上げると、浴室のむき出

しの配管には、輪を作るように縛られたタオルがかかっていた。そういう惨事には至らなかったが、かつての主の錯乱の行方を見た気がした。そう言えば、1年ほど前には、生まれて初めて焼死体にもお目にかかったっけ。

支援Cの業務をこのブログでご紹介しているが、やれネットワークだの協議会の立ち上げだの、制度説明だのと言いながら、結局、このようなコテコテの、埃まみれの仕事を抜きに、地域支援は語れない。それ位、人の暮らしはコテコテで、シビアなものだと痛感する。「障害」などというものは所詮入り口でしかないのであって、結局は人の暮らしそのものに直面せざるを得ない。

ただ、実際はこの家に関係する人たちも、人知れずここに至った訳ではない。記録を遡っていくと、何度か、支援を受けるチャンスがあったはずである。ところが、あまりに要支援状態であったために敬遠されたと思わずにはいられない。その拳句の果てである。福祉のネットワークは、存在しているだけでは何の意味もない。機能こそ全てであると思う。

2007年4月11日

名東福祉会のホームページへどうぞ

名東福祉会では福祉情報を満載したホームページを運営しています。

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

検索サイトから「名東福祉会」でヒットします。

本文にも掲載した奈々枝日記などの他に、最新の厚生労働省情報や専門的な支援技術など多様な情報を掲載しています。

名東福祉会は賛助会員を募集しています

名東福祉会の活動にご賛同いただき、多くの方々にご入会くださいますようよろしくお願いいたします

賛助会員 1口3000円（年間）

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327
TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1
TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3
TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●児童行動療育センター「たけのこの里」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 盤 3
TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池 1 1 2-3